



—令和元年5月臨時会・6月定例会・7月臨時会—

新しい時代、新しい加茂市への希望を胸に

藤田市長 初定例会で所信を表明



〈主な内容〉

- 一般会計補正予算などを可決 …… (2)
- 委員会の審査から …… (3)
- 市長等の給料を引き下げ …… (3)
- 藤田市長に12人が一般質問 …… (4)
- 議案審議結果、議員賛否の状況 …… (10)

一般会計補正予算などを可決

加茂美人の湯運営費三千万円など

一般選挙後、初めての定例市議会が六月二十日から七月一日までの会期十二日間で開かれました。この定例会では、初当選された藤田市長から所信表明があり、条例の制定・改正、各会計補正予算、人事など市長提出議案十七件を慎重に審議の結果、全て承認、原案可決、同意しました。

また、議員提出の県央基幹病院の早期建設を求める意見書は、請願第二号が継続審査となったため、撤回を議長において許可しました。

今定例会の初日、藤田市長は、『未来への責任』のもと、三つの基本姿勢と、三つの施策を述べ、「財政健全化を成し遂げ、市民の皆様が安心して暮らせる加茂市をつくることを約束します。一緒に令和という新しい時代につくっていきましょう」と所信表明を行いました。

市長から提出された議案の内容は、次のとおりです。

6月定例会

教育法の改正により専門職大学及び専門職短期大学の制度が設けられたこと等に伴い、水道布設工事監督者及び水道技術管理者の資格基準について改正するものです。

補正予算 一般

31号議案 一般会計(第三号)は、総額六千七百四十七万八千円を増額するもので、歳出の主な内容は、市民福祉交流センター「加茂美人の湯」運営費三千万円などを増額するものです。

この財源として、市債二千二百五十万円を増額し、予算の総額を百四十二億五十万二千円とするものです。

32号議案 宅地造成事業特別会計(第三号)は、総額一千九百二十五万五千円を増額するものです。

これは、諸支出金一千九百二十五万五千円を増額し、この財源として繰越金一千九百二十二万五千円を増額し、予算の総額を四億一千七百五十六万九千円とするものです。

33号議案 介護保険特別会計(第一号)は、総額三十三万円を増額するものです。

これは、総務費三十三万円を増額し、この財源として、繰入金一千四百七十九万二千円などを増額し、介護保険料一千四百六十二万七千円を減額し、予算の総額を三十一億六千三百三十五

万四千円とするものです。

専決処分 **28号議案** 国民健康保険特別会計補正予算(第一号)は、平成三十年年度国民健康保険特別会計の決算見込で歳入が歳出に不足することから、令和元年度の歳入を繰り上げてこれに充てるものです。

歳出の内容は、前年度繰上充用金七千五百二十九万七千円、この財源として、県支出金七千五百二十九万七千円を増額し、予算の総額を二十八億六千三百六十三万六千円とするものです。

29号議案 一般会計補正予算(第二号)は、葵中学校体育館天井ネット設置修繕料六百七十万円を増額し、この財源として、繰入金六百七十万円を増額するものです。

30号議案 宅地造成事業特別会計補正予算(第二号)は、諸支出金六百七十万円を増額し、この財源として、繰越金六百七十万円を増額するものです。

人事 **42号議案** 定例会最終日の本会議で、教育委員会教育長に、山川雅己氏(田上町、62歳)の任命について同意しました。

43・44号議案 定例会初日の本会議で、人権擁護委員候補者に、西村國一氏(千刈二、63歳)、坪谷正良氏(狭口、66歳)を推薦することに同意しました。

6月20日	本会議・全員協議会
21日	本会議
24日	本会議・連合審査会
25日	産業建設常任委員会
26日	社会厚生常任委員会
27日	総務文教常任委員会
7月1日	本会議

定例会日程

条例改正 **35号議案** 市税条例の一部改正は、生産性向上特別措置法に定める「先端設備等の導入の促進に関する基本計画」を作成することに伴い、その中小企業等への支援措置となる地方税法附則に規定する固定資産税の課税標準の特例に係る軽減措置の割合を定めるため、改正するものです。

36号議案 手数料条例の一部改正は、本年九月二十二日から

37号議案 介護保険条例の一部改正は、介護保険法施行令の改正に伴い、低所得者の介護保険料の軽減が強化されたことにより、介護保険料の所得段階が第一段階から第三段階の者について、介護保険料の減額を行うものです。

38号議案 廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正、**39号議案** 下水道条例の一部改正、**40号議案** 水道給水条例の一部改正は、消費税法等の改正による消費税率の改定に伴い、改正するものです。

41号議案 水道布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正は、学校

委員会の審査から

各常任委員会に付託された議案、請願は、6月25日から27日の間に各常任委員会を開いて慎重に審査した結果、議案は全て原案可決、請願は1件を採択、1件は不採択とすべきものと決まり、最終日の本会議へ報告されました。

産業建設常任委員会

六月二十五日に委員会を開催し、一般会計補正予算など付託された議案五件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

社会厚生常任委員会

六月二十六日に委員会を開催し、一般会計補正予算など付託された議案五件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

また、県央基幹病院の早期建設を要請する意見書の提出を求める請願は、紹介議員の説明の後、審査を行い、趣旨妥当として、全会一致で採択すべきものと決定しました。

総務文教常任委員会

六月二十七日に委員会を開催し、葵中学校体育館天井ネット設置修繕箇所の現地視察を行った後、一般会計補正予算など付託された議案三件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

また、消費税10%増税の中止を求める意見書提出に関する請願は、紹介議員の説明の後、質疑、討論を行い、採決の結果、賛成少数で不採択とすべきものと決定しました。

五十嵐副市長選任に同意

5月臨時会 五月二十三日の臨時市議会にて、五月十日から欠員となっていた副市長の選任について、全会一致で五十嵐裕幸氏（天神林、61歳）を選任することに同意しました。



五十嵐副市長



総務文教常任委員会 請願の起立採決

市長等の給料を引き下げ

7月臨時会

七月二十三日の臨時市議会が開かれ、市長提出の議案四件を原案可決しました。

45号議案 一般会計補正予算（第四号）は、小中学校体育館冷暖房空調機整備事業費四億二千万円などを減額し、財政調整基金積立金五千六十五万一千円を増額するものです。

これに充てる財源として、市債四億三千八百万円などを減額して措置するもので、この結果、予算の総額は百三十七億四千六百五十五万二千円となります。

地方債の補正は、小学校施設整備事業債など二件の限度額を変更し、中学校施設整備事業債を廃止するものです。

46号議案 国民健康保険特別会計補正予算（第二号）は、健康カレンダー印刷費百十四万四千円を減額し、この財源として、県支出金百十四万四千円を減額するものです。

47号議案 特別職報酬等審議会条例の一部改正は、平成二十七年四月一日に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、教育長の身分が特別職のみを有するものに変更されたが、特別職報酬等審議会の所掌事項に教育長の給料月額が含まれていなかったため、これを含めるものです。



第48号議案の採決

48号議案 特別職の職員の給与に関する条例及び教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部改正は、任期中の市長、副市長の給料月額を、市長十五%、副市長十%それぞれ引き下げることについて、特別職報酬等審議会に諮問したところ、適当である旨の答申を受けたことにより、今年八月一日から給料月額を引き下げ、これに併せて、任期中の教育長の給料月額も同様に5%引き下げることです。

市議会6月定例会 一般質問要旨

詳しくは会議録で(9月上旬発行予定)

中長期計画について

Y02781 大平 一貴 議員



問 選挙戦で市長は、中長期計画を立てると訴えていた。ぜひ計画を作成していただきたい。(1)市長の「中長期計画」とは、総合計画のことか。参考とする自治体はあるか。

(2)計画の作成開始時期、計画期間、取組体制、完成予定はどうか。持続可能な市にするため行政サービスを取捨選択し支出削減する計画とし、市民意見を踏まえ作成すべき。(3)二セ

答 (1)選挙公約の「中長期計画」は「総合計画」のこと。中長期の加茂市の将来のまちづくりを示す「総合計画」を策定する。内容は基本構想、基本計画等で構成されるものを考えている。良いと思った自治体の計画を参考にしたい。(2)計画は今年七月から作り始め、来年度に完成、計画期間は、三年度から八年度の六カ年計画としたい。職員でプロジェクトチームを編成し、市民アンケートや有識者等で編成する審議会等さまざまな方法で、市民の声を聞き策定したい。(3)二セ町の資料は大変わかりやすい。よい点は取り入れるように検討したい。(4)財政状況は厳しく緊急を要する。総合計画に先行し、行財政改革に今年度から取り組み、年度内に策定し、来年度予算に反映したい。今年度予算は、厳しい財政状況のため、事業の保留などを可能な限り実施する。(5)総合計画には、計画を下支えし、今後の財政の見通しとなる「財政計画」が必要となる。人口減少が続く中、公共施設の維持管理費や施設の必要性、統廃合も視野に入れた「公共施設等管理計画」は財政的にも、施設を利用する市民にも重要な問題となる。どちら

も作成する方向で検討していく。

地域に根差した地域包括ケアシステムの構築と社会資源増について

れいわの風 大橋 一久 議員



問 ①他自治体は、中学校区ごとに地域包括支援センターを設置している。ケアプランもケアマネジャーが、利用者の希望に沿って作成する。介護サービス施設が不足し、サービ

ス付き高齢者住宅等も必要。街の中に介護施設があれば、高齢者も安心する。早期整備には民間の社会福祉法人等の参入が重要。市は保険者の役割に徹する事がよい。介護保険でカバーできない分野への支援等に取り組む事がよい。

②大型店規制の効果と新規進出の見解を聞く。就労者の利便を考え、市税のコンビニ納税導入が必要。③猿等の農業被害防止に電気柵設置を補助対象に。熊対策に猟友会支援を。ハンター確保対策を聞く。

答 ①加茂市介護・看護支援センターが地域包括支援センターの役割を担い、市直営で一元的に業務を行ってきた。原則は中学校区単位の設置なので、複数設置や民間委託も視野に入れる。在宅サ
ービス利用の際、市職員が行うサービスの相談・調整をケアプランの自己作成と呼んでいる。介護保険料への影響を試算し、自己作成からの転換を検討したい。ショー活用したい。加茂市にない施設の整備は、介護給付費増加が懸念される。民間参入もあり得る。供給過多にならないようニーズを見極めたい。保険者としての役割に徹することは、時間をかけ考える。②商店街協同組合組合員数は、平成元年二百五十二、三十年は百五に減少。建築規制がなければさらに減少したと思う。大型店出店計画の際は、広く関係者に話を伺い検討が必要。コンビニ納税は利便性から必要なサービスだが、費用四百万円をかけて収納率向上は期待できない。すぐに導入は難しい。③電気柵の国・県補助は市負担額が不明なため、慎重な検討が必要。銃猟免許取得費用二名分、一人上限五万四千円を措置。昨年度二人が取得。有害鳥獣対策費九百五万三千円措置し、猟友会を支援する。

市議会6月定例会 一般質問要旨

詳しくは会議録で(9月上旬発行予定)

財政健全化と市長の決意について

YO2781 安武 秀敏 議員



問 ①四月施行の市長選挙の出口調査で、

最優先で取り組む政策として約三割が財政の健全化を挙げた。市長には日本一貧乏なまちから月額八十一万円の給料が支給されるが、感想はいかがか。新聞投稿に、県内二十市中十四位の高額であり、財政状況に見合う額に見直しが必要とあった。小池市長時代の報酬審議会の開催状況はどうか。市長は自身の給料

そのため「中長期計画を立て、将来の備え、希望を持てる未来の創造のため財政の健全化・基金の積み立てをします」と選挙公約で訴えた。財政健全化は急務の課題。すぐ取りかかる。財政健全化は市民サービスに影響を及ぼし、市民の理解をいただくことが重要なため、自分自身も身を削る覚悟で取り組む。特別職の給料はすぐに下げる。削減後は二十市中一番低い額になるようにしたい。厳しい財政に対し、職員的大幅削減で対応してきた中で、職員は相当の負荷がかかった状態で勤務している。

給与削減を念頭におくが、実行は慎重にいききたい。特別職報酬審議会は、平成二十五年七月開催以降、開催はない。特別職の給料を削減したいので、早急に開催したい。②信号機設置について加茂警察署に確認し、設置の方向で検討中で、設置時期は未定との回答。同交差点の横断中標示付点灯照明は、LED型への更新や灯火式ではない反射式の大型標識に変更を検討中との回答。信号機が設置された場合、横断中表示付点灯照明は、撤去になるとのこと。早い時期に設置できるようお願いしていきたい。

答 ①加茂市の厳しい財政状況については十分承知している。

②加茂高校裏交差点の信号機設置の状況を聞く。同交差点の灯火照明標識が点かない。LEDの生産待ちということ、見直しを聞く。

ごみ焼却施設について

政友クラブ 中野 元栄 議員



問 ①ごみ焼却炉

のダイオキシン値が基準を下回り、六月十一日から一号炉でごみ焼却が再開された。焼却炉新設に七十億円かかるという。部品を取りかえながら、今の焼却炉を大切に使うほうがよい。

②九月二日に竣工記念式典、九月二十日外来診療開始。新たに緩和ケア病棟を開設し、緩和医療の充実を図る。現在の十三科は維持され、医師、看護師、職員はそのまま新病院に移り、緩和ケア病棟の認定看護師も配置される。CTはグレードアップされ、電子カルテ

導入やウィルスの拡散防止に役立つ簡易陰圧室が整備される。新潟県は産科医の充足度最下位で、産科医二人以上の確保と産科再開は厳しい。医師不足の状況で、一部病棟を休止し診療が開始される。産科優先個室が、当初要望の二十室に増床されるよう、産科医確保と産科再開を引き続き訴えていく。

②新加茂病院の開院はいつ頃か。医師、看護師、職員の確保はされるか。最新の機材は配置されるか。産科医師は二人以上確保されるか。③農業従事者は高齢化し、農地は若い後継者に集約していかなくはいけない。米のほか、酪農、施設園芸、果樹、きのこ栽培などに取り組む農家もあり、加茂市も農地中間管理機構の活用を進めてはどうか。農機具購入費補助制度や南蒲原森林組合への支援はどうか。

③農地中間管理事業の推進に関する法律等の改正が秋に施行されるのを踏まえ、人・農地プランの作成と農地中間管理事業に取り組む。農機具購入費補助を制度として残すが、財政健全化を最優先とし、細部の見直しを行いたい。南蒲原森林組合は財政健全化をはかる中で支援していきたい。

答 ①ご不便、ご迷惑をおかけし、お詫び申し上げます。ごみ焼却施設は、現状を見る限りすでに老朽化。建設費約六十億円、計画から建設完了まで七、八年かかる。現施設の維持の課題もある。田上

で支援していきたい。

市議会6月定例会 一般質問要旨 詳しくは会議録で(9月上旬発行予定)

県央医師会応急診療所の負担金について

政友クラブ 白川 克広 議員



問 ①県央医師会応急診療所「構成市町村への参加及び応分の負担について」の文書は、今年で七回目。開設から四年間は負担金の要求なく、突然要求が始まった。設置・運営は県央の四医師会で、三条市の要求はあり得ない。「救急搬送指示、整備費用も負担へ」の新聞報道で、負担ありきの断定的な発言は市長としての配慮に欠く。行政行為は、法令にの

つとり合理的で妥当性が必要。不可解要求に対し支払うとした市長の見解を伺う。救急搬送の現状と搬送実績一件について説明を願う。
 ②若宮中学校のエレベーターの(1)竣工年月日と総工費(2)各年度の活用実績と総経費(3)対象生徒の状況と有効な活用方を伺う。

答 ①公約を果たすべく、三条市長に要請に応じる意思を伝え

た。加茂市医師会は、休日当番医制度を維持しつつ応急診療所に参加。先生方に感謝する。多くの加茂市民が診療所を利用し、市は県央医師会の一員として医師会に協力し、応分の負担をする。応急診療所へ参加を求める請願が議会採択され、市と議会が一体となり支援しなければならぬ。負担金は建設費借入金補助で、負担方法は今後協議する。応急診療所への搬送は病院選定の選択肢が増え、初期診療が早く開始される。「傷病者の搬送及び受入れの実施に関する基準」「救急業務実施プロトコル」により、速やかに適切な医療機関を選定し搬送する。実績は五月末、急性胃炎との診断で、当日帰宅された。応急診療所での軽症者の診察や県の夜間救急医療電話相談の活用が、医療現場の疲弊を防ぐ一助となる。

②(1)平成二十九年五月末日竣工。総工費は四千七百四十七万六千円。
 (2)特別支援学級在籍生徒等の移動、楽器、学校行事の物品、大型備品、給食食缶等の運搬に活用。保守点検費百六十九万円。電気料月約二万円。
 (3)身体の不自由な生徒は、今後も断続的に入学が見込まれる。

生田屋の活用について

れいわの風 橋本昌美 議員



問 (1)旧生田屋に
 会教育課が管理。(3)二十九年度は総額約五十一万円。うち修繕費を除く維持管理費約十万五千円。三年度は総額約三百三十五万円。修繕費とシロアリ駆除費を除く維持管理費は約四十二万円。三十一年度当初予算は総額百二十三万二千円。警備委託料三十四万二千円を今年度から計上し、修繕費とシロアリ駆除費三十九万九千円、維持管理費四十九万円。(4)利用は簡単に決められない。老朽化が進み、すぐに使用できる状況ではない。
 (5)市民からご覧いただき、意見を聞きながら進めたい。(6)加茂市政を議会と行政が一体となって運営していくには、強い信頼関係が必要になる。今回のような重要な不動産を取得する場合は、議会に対し、事前に報告したい。土地開発基金の条文改正の必要はない。(7)主な所有土地は、蒲原鉄道跡地、第三平成園建設用地、知的障害者施設用地、市道荒又線用地、第四平成園用地等、合計面積は十万五千八百五十平方メートル、金額は三億七千四百七十一万六千二百円。

答 (1)前市長からの引き継ぎはなし。
 (2)土地開発基金の所管課は企画財政課。旧生田屋土地建物、基金の財産として所有している。土地は企画財政課で管理し、建物には加茂市文化財に指定後、社

市議会6月定例会 一般質問要旨 詳しくは会議録で(9月上旬発行予定)

総合計画の策定について

大志の会 浅野 一 明 議員



問

①加茂市は総合計画が策定されておらず、目指すべき加茂市のあり方が市民に示されていない。市長には、新たな時代の市の姿を、総合計画の形で示してほしい。計画は、行政計画だけでなく、市民参加や協力を求める公共計画の形であってほしい。また、総合計画策定条例を定め、議会議決を経た計画を策定すべき。(1)市民の行動も含めた公共計画

を考えているか。(2)策定にあたり、市民や有識者の意見を聞く諮問委員会等の設置を考えているか。(3)計画策定のスケジュールを聞く。

②今年度予算の全小中学校の体育館のエアコン設置や葵中学校耐震化工事等の施策はこのまま実施されるのか。変更を考えているのか。

答 ①中長期の加茂市の将来のまちづくりを示す「総合計画」

を策定する。(1)今回策定する計画は、市民参加や協力を求める計画を考えているが、明確に行政計画、公共計画と分けることは難しく、計画の策定過程で検討する。(2)市民、有識者等で構成される審議会

の設置を考えている。計画の重要性を考え、条例を制定し、基本構想を議決事項にする方向で検討していく。(3)前回の総合計画は平成五年の策定であり、作成に要する期間が必要。令和二年度末までに完成する予定。

②財政健全化は急務。今年度事業の一部保留、事業方法の変更等を考えている。保留や変更ができる方策は限定されるが、「小中学校体育館冷暖房空調整備事業」、「林道麻布谷黒水線改良事業」、「林道小皆川線改良事業」、「林道猿毛線舗装事業」、「道路新設改良費(単独)」、「水路新設改良費(単独)」、「若宮公園整備事業」、「敬老会」

を考えている。職員のコスト意識の徹底、業務改善により経費節減を行う。葵中耐震化事業は重要事業であり、本体工事第一期は今年七月から実施し、本体工事第二期は令和二年度の緊急防災・減災事業債を財源に実施する。

加茂市民憲章の検討について

日本共産党 中沢 真佐子 議員



問

①加茂市民憲章は、昭和五十七年に制定された。加茂市が心豊かな街として限りなく伸展するようにとの願望がこめられている。その後

の社会変化に伴い、私たちは加茂市民であると同時に国際社会の一員でもある。市民憲章に世界と共有する知恵の追加を提案する。・戦争のない平和な世界を目指す・自然エネルギーなど持続可能な社会の構築・ジェンダー平等や民族、宗教の違いへの寛容。市民憲章について、市長の見解を伺う。

②加茂市では、昭和三十一年以来原則として三年に一回、市民を対象に世論調査を行ってきたが、平成十年を最後に実施されていない。広く市民の声を聴く方法の一つとして、世論調査の意向はあるか。

答 ①市民憲章は、昭和五十四年に発足した市民活動委員会が、市民憲章部会を組織し、二十回以上の会議、小学校区ごとの「市民憲章を語る会」を経て、市民憲章草案を作

成。最終的に市と話し合い、昭和五十七年三月議会に提案され、三月十日に制定された。市民活動委員会は、加茂市総合計画の長期基本構想、市民参加の推進体制に基づき結成され、当初は市内各地区、各層からなる三十八人でスタートした。「他市に例のない、加茂らしさにあふれたユニークな憲章」を作りあげることを目指し、広く市民の考えを吸い上げた、行政が関与しない市民憲章を作り上げた。経緯、つぎ込まれた努力、制定に携わった人たちの思い入れなど踏まえると、改定には、市民から有志を募り、時間をかけ検討が必要。改定したほうがいいのかどうかも含め、市民の意見を聴きたい。

②調査は継続して行うことで、市民の考えや生活満足度、意識の変化などを比較検討することができる。市政に反映することができ、前回調査から間が開いてしまった。世論調査として実施するかどうかは別にして、総合計画策定に活かせるような調査を、従来の世論調査とは一回切り離して検討したい。

市議会6月定例会 一般質問要旨

詳しくは会議録で(9月上旬発行予定)

加茂市立保育園における建物の修繕状況について

れいわの風 森 友和 議員



問

①公立保育園の建物は十分に手入れされることが望ましい。五つの保育園の営繕費決算は百二十一万円。修繕が必要と認識している箇所、見積額、修繕計画を伺う。

②幼児教育無償化にかかる当年度以降の財政への影響額を伺う。
③病児保育園の利用者登録数は、二百四十四件。(1)開園以降、病児保育園の利用者数はい

かほどか。(2)開園時間を早めることを検討いただきたい。
④財政調整基金の減少が新聞で報道され、多くの市民が不安を持つに至った。市民は安心と希望を持てる財政運営を求め、財政再建をいかに果たすのか関心を寄せている。財政再建計画について市長の見解を伺う。

答 ①営繕費のほか、小修繕は運営費で三百六万円支出。箇所

と見積額は、芝野保育園の屋上防水二百万円。ガス管改修で加茂保育園二百九十万円、芝野保育園五十万円。屋根塗装で加茂保育園三百九十万円、西加茂保育園三百五十万円。保育園に限らず程度や緊急性を精査し、少しずつ修繕する。

②元年度は無償化にかかる経費及び事務費は全額国費負担。二年度は事務費は国費負担。以降は試算で市負担は一千万円多くなる。

③開園から、八カ月で加茂市七十一人、田上町十三人、その他市町村六人の計九十人が利用。一日平均〇・六人。三条市の病児保育園は一日平均二・九人、燕市は三・二人。開園時間は、加茂病院の診療開始時間や職員体制を考慮し、利用しやすい方法を検討したい。

④「中長期計画を立て、将来の備え、希望を持てる未来の創造のため財政の健全化・基金の積み立てをします」と選挙公約で訴えた。税収減、社会保障費の増加、施設の維持補修など課題は多いが、災害対応の基金確保だけでなく、市民が、今後の加茂市に夢と希望をもてる、将来の指針となる総合計画の実現とこの計画を下支えする行政財政健全化を行う。

市長の政治姿勢について

大志の会 森山一理 議員



問

(1)美人の湯の運営をどうするのか。

宿泊施設として再生と、積極的なイベント開催を提案する。(2)上町と中央のコミュニティセンターを一つにする考えはあるか。百円風呂は市民二百円、市外は三百円という意見がある。(3)学校給食調理場を第三セクターや民間委託に。

(4)加茂市敬老会の経費は一千三百二十万円。地区毎の自主敬老会や社会福祉協議会へ移行が望ましい。

(5)加茂山公園駐車場はJR通勤等の車の駐車のため満車で、公園利用者が困惑している。有料ゲート式駐車場への変換を求める。(6)八十里越え開通に伴い、美人の湯を道の駅に申請し登録する。道路等のインフラ整備、加茂市民の受け入れ態勢の意識づけも必要になる。

答

(1)美人の湯をすぐになくす訳にはいかない。指定管理者制度、業務委託やイベント等の提案は、行政健全化の取り組みの中で検討したい。(2)二つのコミュニ

ティセンターを一つにすると約一千五百万円の経費削減となるが、市民サービスセンターがあり、難しい問題。百円風呂についても過去に同様な意見があり、十分に検討したい。(3)加茂市は直営方式ではあるが、米飯時の炊飯や給食の運搬を民間業者に委託している。調理場六施設に正規職員十三名、臨時職員十三名。民間委託等へ転換する場合、調理員の雇用、感染症や異物混入等の問題、食品アレルギーの児童・生徒にきめ細かな配慮ができるか不安がある。現在の一食単価で内容を維持できるかという問題もあり、十分検討したい。(4)昨年度の敬老会は、五千三百十三人を対象に開催し、出席者は、来賓を含め五百人。他市を参考に、削減の検討を行い、近いうちに結論を出したい。(5)有料ゲートは費用がかかり難しい。駐車場利用時間を設け施設するなど、駐車場のあり方を検討したい。(6)今後の美人の湯の運営を検討する中で、道の駅の申請も考えたい。蒲原鉄道跡地の道路整備事業化は難しい。

市議会6月定例会 一般質問要旨 詳しくは会議録で(9月上旬発行予定)

加茂市の農業政策について

政友クラブ 山田 義 栄 議員



問 (1)国は、人・農地プランの作成を求めている。また、農地中間管理事業は、知事が指定した農地中間管理機構(新潟県は新潟県農林公社)が、農用地等を貸したい農家から農用地を借り受け、農業経営の規模拡大や効率化を図る担い手へ貸し付ける事業で、メリットは、機構集積協力金交付事業、固定資産税の軽減措置である。

加茂市は、農機具補助等ですべての農家を平等に支援し、継続可能な農業政策を行い、国の政策は離農を促し、農家数減少、集落衰退、農家の発言力の減退と考へ、この事業に取り組んでいない。国の事業についての考へを伺う。(2)農機具補助の方針を早め決定し、周知していただきたい。

答 (1)平成二十四年度から国は、担い手の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加などの人と農地の問題を解決し、持続可能な力強い農業を実現するとして、人・農地プランの作成を市町村に求めている。県内は二十八市町村で八百二十九のプランが作成済み。耕作地がない粟島浦村を除き未作成は加茂市だけ。また、農地中間管理事業は、二十六年から始まり、三十年の全国の機構転貸面積は四万三千八百四十五畝、うち新潟県は三千四百六畝で全国一位。県内で農地中間管理機構と業務委託契約の締結がないのは耕作地がない粟島浦村を除き加茂市だけ。農地中間管理事業の推進に関する法律等の一部改正が本年秋に施行され、これを踏まえ、人・農地プランの作成と農地中間管理事業に取り組む。(2)加茂市農林業総合振興事業、いわゆる農機具購入費補助は制度として残すが、その前提として財政健全化を最優先し、細部の見直しを行う。周知の方法は、七月十五日号の広報かも知知らせ版で農機具購入費補助を制度として残すが、財政健全化のために細部の見直しを行うことを掲載し、詳細決定後、農家組合長を通じ農家へお知らせする。

市民バスの運行について

公明党 三沢 嘉男 議員



問 ①市民バスは年間八万三千人が利用し必要な事業であるが、運営課題も多く、安心・安全な運行は必然。他市では現状を把握し、データを積み重ね改善し、自治体の負担軽減に取り組み。四台が走行距離百キロを超え、修繕も難しい。ワゴン車にかえ車両を小型化し、利用者の少ない時間帯、地域での運行や定時運行とオンデマンド交通の併用も可能と考へる。料金見直し、電車時間を考へ時刻変更も必要。

②百円風呂の市外の人の無料利用に、市民は疑問がある。市内の七十歳以上の方にシニアパスポートを配布し、バスポート提示で無料にしてはどうか。上越市はシニアバスポートを配布し、協賛店舗・施設でサービスを提供している。

答 ①現車両を大切に使用してきていたが、修繕費は大きくなっていく。経費削減につながるため、利用者の少ない時間帯、地域の運行の見直しや、中古車両の購入など、ご提案いただいた事業など、さまざまな面から十分考へていきたい。

②市民ども視野に入れて検討する。多くの市町村が市内全域で、タクシー車両を利用したデマンド交通に切りかえている。これまで加茂市では、市民バス料金と三条市のデマンドバス料金の比較では、市民バスが安いことと、便利で使いやすいため定時路線の運行をしてきた。バス購入費や修繕費など経費削減や料金、利便性を考へ、市民バスとデマンド交通、ほかに他市町村で公共交通の先進事例を研究するなど、様々な面から検討したい。料金の見直しは、他のバス事業者との競合区間もあり難しい。時刻変更も電車の長岡方面、新潟方面両方の利便がよいバス時刻の設定は難しい。しかし、利用データをよく精査し、十分検討したい。

②風呂付のコミュニティセンター四か所の利用者は十五万八千九百七十七人。利用の際、加茂市民か市外の方か、口頭で確認し判断している。百円風呂については、行財政健全化の中で議論をする中で、ご提案いただいた事業など、さまざまな面から十分考へていきたい。

議員表彰

全国市議会議長会から永年在職議員及び正副議長在職議員として表彰された、次の方々の表彰状伝達式が、定例会初日の開議に先立って行われました。

【特別表彰】

◎議員在職二十年以上

山田 義栄 議員

中野 元栄 議員

安田 憲喜 議員

【一般表彰】

◎正副議長在職四年以上

山田 義栄 議員

森山 一理 議員



表彰状を受ける山田議員



表彰状を受ける森山議員



表彰状を受ける安田議員



表彰状を受ける中野議員

連合審査会

六月二十四日に連合審査会を開催し、各常任委員会に付託された議案十一件について、総括質疑を行いました。

全員協議会

七月一日に全員協議会を開催し、行財政改革の取り組み等について説明を受けました。

七月二十三日にも月例全員協議会を開催し、事務に関する説明

書の質疑を行いました。

議員意見交換会

七月一日、二十三日に議員意見交換会を開催しました。一般質問時の議場での資料配付、地震等発生時の対応、議員報酬等、多くの議員から検討事項の提案があり、意見を交わしました。今後も引き続き意見交換会で話し合うことを確認しました。

議会日誌

〔5月〕

7日 各派交渉会準備会

7・9・13・14・20日 各派交渉会

20日 議会運営委員会に代わる各派交渉会

23日 臨時市議会

30日 政務活動費決算審査会

特別豪雪地帯市町村議会協議会総会（柏崎）

〔6月〕

5・6・10日 新議員研修会

11日 全国議長会定期総会（東京）

13日 議会運営委員会

20～30日 定例会市議会

〔7月〕

1日 定例会市議会

全員協議会

議員意見交換会

16日 三市議会議員合同研修会（燕）

18日 議会運営委員会

23日 臨時市議会

月例全員協議会

議員意見交換会

議会だより編集委員会

30日 県央基幹病院設置に係る道路等環境整備促進期成同盟会中央要望（東京）

新議員研修会開く

四月の改選で初当選を飾った新人議員四名は、六月初めに三日間にわたる研修会で市政を勉強しました。初定例会では四名全員が一般質問に立って、公約の実現を訴えました。

詳しくは会議録で

市議会本会議の会議録は、加賀市ホームページからご覧いただけます（平成二十八年三月定例会以降）。

六月定例会の会議録の掲載は、会議録の発行と同じく九月上旬頃となります。

市議会を傍聴してみませんか

九月定例会開催予定

九月十九日～二十四日

本会議

九月二十五日～二十七日

各常任委員会

三十日 水道事業会計

決算審査特別委員会

十月二日 本会議

議会だより編集委員

委員長 滝沢 茂秋

副委員長 中野 元栄

委員 森 友和

委員 三沢 嘉男

委員 白川 克広

委員 佐藤 俊夫

委員 樋口 浩二

委員 関 龍雄

次の定例会は

9月19日(木)から開催の

予定です